

# 「お茶の京都」構想

## 1 構想の背景と趣旨

### (1) 背景

- \* 京都府南部の山城地域は、中国からお茶が日本に伝えられて以来、時々の権力者や町衆の支持を得て、栽培や製茶技術の工夫・革新を繰り返しながら、日本茶を代表する「抹茶」「煎茶」「玉露」を生み出し、生活の中の喫茶など日本茶文化を支えてきた。その中で、抹茶、煎茶、玉露それぞれの生産に対応した茶園や集落、茶問屋の街並みなどの景観を形づくっており、まさに「日本茶のふるさと」であり、日本茶の歴史・文化を伝承する文化的景観として唯一無二の存在であり、国の日本遺産に認定された。
- \* また、平成18年度から「宇治茶の郷づくり」を、さらに平成23年度から、宇治茶の文化や価値を人類共通の貴重な宝として将来にわたって継承していくため、宇治茶の世界文化遺産登録を推進してきており、お茶の文化や茶畑等の景観をはじめ、宇治茶カフェや抹茶スイーツの拡大など、多様な付加価値をもった広がりを見せている。
- \* 山城地域は、京都と奈良という古都に挟まれ、大阪や滋賀にも接し、古くから多くの貴族の別荘や社寺が建ち並び、人・もの・文化が盛んに行き来した交流の地である。今後も、平成35年度までに予定されている新名神高速道路の開通や、平成34年度の完成を目指しているJR奈良線の高速化・複線化第2期事業、平成32年の東京オリンピック・パラリンピック開催などにより、人・ものの流れが飛躍的に増大することが期待される。

### (2) 趣旨

- \* 日本茶文化を創造し、全国に普及させてきた「宇治茶」や茶畑景観等の山城地域の価値を再認識し、さらに磨きをかけ、世界に向け発信することにより、多くの人を訪れる大交流圏を創出し、日本の茶文化の一大拠点にする。
- \* 対象地域は、原則として、世界文化遺産登録を目指すなど、宇治茶生産の基盤、美しく個性的な景観を有する山城地域一帯（12市町村のエリア）とする。

## 2 課題

- \* 山城地域は、日本茶のふるさととして、抹茶、煎茶、玉露を生みだし、日本のお茶の文化や産業をリードしてきたが、生活様式の変化の中で、消費の減少や生産者の高齢化など、お茶の文化や産業の衰退にもつながる課題が顕在化してきている。
- \* 山城地域には、美しい茶畑や茶問屋街などの景観をはじめ、歴史あふれる神社仏閣など、優れた資源があるが、世界的に見れば、日本茶や宇治茶の知名度は決して高くなく、国内においても、お茶の景観や文化に触れる機会が少ない。  
また、これらの資源は、広い範囲に点在し、ネットワーク化されておらず、地域全体としての発信力に欠け、相乗的な経済効果を生んでいない。

- \* 山城地域は、京阪神からの日帰り観光が可能で、宿泊施設も少なく、また、入込客が長時間滞在できる魅力的なコンテンツや回遊システムが十分に整備されていないことなどから、他の地域に比べ一人当たりの観光消費額が低い。

### 3 めざす姿

- \* 宇治茶生産の長い歴史が生み出した美しい景観が、維持・保全・継承され、世界文化遺産に登録されていること。
- \* お茶をテーマに、地域の人・資源を総動員してネットワーク化を進め、発信することにより、多くの人々が地域の価値や魅力を感じ、長時間滞在できる大交流圏が形成されていること
- \* 「宇治茶」が世界に通じるブランドとして展開され、宇治茶の市場価格がこれまで以上に高まるとともに、産業の新たな展開や生産性の向上、雇用創出などが図られていること。
- \* これらのことにより、住民自らが、宇治茶や茶畑景観などの歴史的・文化的な価値を実感し、さらに磨きをかけ、誇りとしていること。

### 4 目標年次

- \* 新名神高速道路城陽～八幡の開通（平成28年度）を踏まえ、平成29年度を目標年次として取組を進める。  
なお、東京オリンピック・パラリンピックが開催される平成32年度や新名神高速道路が全面開通する平成35年度を念頭においた展開にも留意する。

### 5 具体的施策の展開方向

#### 1 宇治茶の価値の再発見、景観やお茶文化の維持・継承

- \* 茶畑等の景観を維持・継承し、宇治茶の価値の再発見・向上を図るため、日本遺産『日本茶800年の歴史散歩』～京都・山城』をさらにブラッシュアップし、世界文化遺産登録に向けた府民運動を展開するとともに、子ども達をはじめ様々な層に応じたお茶を飲む文化の普及・拡大を進める。

(事業例)

[茶畑等の景観の維持・継承、世界文化遺産登録推進]

- ・世界文化遺産登録に向けた世界レベルの資産価値や保全措置に関する調査
- ・シンポジウムや宇治茶文化講座開催など「府民運動の展開」
- ・美しい茶畑景観を継承するための山なり茶園の生産設備や農道等の整備
- ・高級手摘み玉露・てん茶の生産設備の整備
- ・日本遺産魅力発信推進事業の活用による回廊ルートの設定・整備、ガイドマップ作成、情報発信などの展開 等

[お茶の文化の普及・拡大]

- ・小・中学校等での「宇治茶」の授業・サークル活動支援等、お茶育の推進
- ・「宇治茶ムリエ」の養成等による宇治茶のおもてなしの促進
- ・企業、ホテル、地域住民、外国人等へのお茶作法等の習得支援などお茶する生活の普及・拡大
- ・お茶や観光に関連する企業等に対する販売等の促進（京都市域）
- ・富裕層を対象とした「おもてなしツアー」、高級宇治茶の需要促進 等

## **2 お茶の文化・魅力を発信する交流エリアの創出、ネットワーク化**

- ＊ お茶をテーマにした、戦略的な交流拠点づくりやそのネットワーク化を図ることに  
より、多くの人々が訪れ、交流することで経済的な波及効果を生む仕組みを構築

(事業例)

[戦略的な交流拠点づくり]

- ・戦略的な交流拠点の中核施設や駐車場等の整備、強化
- ・茶問屋の街並み等、魅力ある景観形成に資する関連施設の修景整備
- ・展望施設、散策道、案内看板等、景観活用の施設整備や回遊道路の改良
- ・農家民宿、直売所、縁側カフェ、農家レストラン、体験施設等の整備
- ・お茶づくしでもてなす民間ホテルの誘致促進
- ・空家や公的施設を活用した民宿、レストラン、体験施設等の開設支援
- ・地域資源を活用した売れる「食」の開発、抹茶等を活かした新たな商品開発
- ・「お茶の京都」アドバイザーの配置 等

[ネットワーク化]

- ・お茶の魅力（景観、味わい、憩い）を伝える T（ティー）スポットの設定や「道の駅」の整備促進
- ・「茶業研究所」、「宇治茶会館」、「福寿園 CHA 遊学パーク」等を主要拠点に、各地域の戦略的な交流拠点や T スポットを結び、発信する「宇治茶かおり回廊」の整備
- ・「お茶」のサイクリングコース、トレイルコースの設定など、回遊システムづくり
- ・回遊性とアクセス強化のための公共交通網の整備
- ・アクセス道路の改良・修景整備、案内標識、観光案内看板の設置 等

<重点的に整備を行う戦略的な交流拠点のエリア>

[各市町村における交流拠点エリア]

- 宇治市：宇治橋周辺地区
- 城陽市：五里五里市を核に、文化パーク城陽・城陽旬菜市直売所、荒見神社、（仮称）道の駅梅の郷青谷をつなぐ、おもてなし・発信のエリア
- 八幡市：やわた流れ橋交流プラザ「四季彩館」を核に、木津川流れ橋・河川敷茶園、伊佐家住宅へ通じる路線沿いエリア。また、石清水八幡宮から松花堂・円福寺を結ぶ東高野街道沿い

- 京田辺市：普賢寺ふれあいの駅を拠点として飯岡（草内及び東を含む）をつなぐエリア
- 木津川市：上狛地区を重点エリアとして、当尾・瓶原・ハイタッチ・リサーチパークをつなぐ環
- 久御山町：まちの駅クロスピアくみやま周辺（久御山JCT、イオンモール久御山隣地）
- 井手町：井手町まちづくりセンター「椿坂」周辺～フルーツライン（観光農園）周辺
- 宇治田原町：湯屋谷エリア（永谷宗円生家、茶宗明神社、上大福茶園）
- 笠置町：わかさぎ温泉笠置いこいの館～笠置山
- 和東町：中核拠点と東茶カフェを中心とした、文化的景観・文化財が存在する茶源郷交流エリア
- 精華町：けいはんな記念公園エリア（精華町内スイーツ店と連携）
- 南山城村：南山城村農林産物直売所（将来的には整備中の「道の駅」及び「少年自然の家」）を拠点として、高尾地区、田山地区、北大河原地区、野殿地区、童仙房地区の茶畑を中心としたエリア

※交流拠点づくりに向けた取組を進める中で、引き続きエリアの重点化等を行う

〔ネットワーク化を図る主要拠点施設〕

- 京都府立茶業研究所
- 宇治茶会館
- 福寿園CHA遊学パーク 等

※ 戦略的な交流拠点づくりを進めるにあたっては、各市町村において、地域住民等によるまちづくり委員会（仮称）を設置するなどし、ワークショップ等を通じて、マスタープランを策定するものとする。

#### <宇治茶かおり回廊の概要>

宇治茶の景観を活かした「お茶の京都」づくりのため、山城地域の戦略的な交流拠点、日本遺産「『日本茶800年の歴史散歩』～京都・山城」、「宇治茶生産の景観」のほか、交流の拡大につながる拠点・景観地などを巡る「回廊」を選定し、ソフト・ハード両面から整備するとともに、内外にその魅力を一体的に発信し、交流を通じた地域振興につなげる。

##### ① 回廊の選定

各市町村の「お茶の京都」の戦略的な交流拠点やTスポットを結ぶ「回廊」を、原則として国道又は府道から選定するとともに、それぞれの市町村にある、「宇治茶生産の景観」をはじめとする、宇治茶に関わる①景観を楽しんだり、②歴史や文化を学んだり、③魅力を体感したり、④商品を購入したり、⑤飲食を楽しんだりできる交流の拡大につながる様々な拠点・景観地などを巡る「回廊」を、府道、市町村道、林道から選定する。

これらに加えて、回廊から派生するルートやサイクリングルートも選定する。

## ② 回廊の整備

各地域の景観計画等とも整合を図りつつ、府道及び府管理国道を中心に、設備更新時期も見据えながら、「お茶の京都」にふさわしい整備を行うとともに、市町村道や林道についてはガイドラインを示し、統一のとれた整備を行う。

- ・戦略的な交流拠点や地域の様々な拠点への「誘導サイン」の設置
- ・設置場所及びその周辺の地図や解説を記した「案内板」や「解説板」の設置 等

## 3 お茶産業のイノベーション創出

＊ 茶業研究所を核に、世界に通じる「宇治茶」の新たな価値を創出するとともに、お茶の機能性を引き出した新商品の開発やお茶を軸とした新たな産業展開を図る。

また、茶園等の基盤整備や効率化によるコスト削減により、生産性、収益性を高めるとともに、「宇治茶」ブランドの強化、新たなブランド展開を図る。

(事業例)

[研究・人材育成等の強化]

- ・茶業研究所のリニューアル整備(茶業界と企業・大学等が結集し、イノベーションを生む交流拠点機能の強化、共同研究を行うオープンラボの設置、先端機器の導入 等)
- ・企業・大学との幅広い研究交流等により、茶の多様な機能性や多面的価値を活用した健康食品など新たな機能性食品や新サービスの開発・発信、顧客の創出
- ・海外市場にも対応する生産技術開発や生産性の向上
- ・お茶の香りや旨み成分など宇治茶の価値・魅力の発信
- ・高い経営力と情報発信能力を備えた担い手育成
- ・経営力向上のための「宇治茶アカデミー」の開設や後継者育成研修の実施
- ・ICTを活用した最先端生産管理システムの開発、ブランドを支える仕組みづくり 等

[ブランド力強化]

- ・地理的表示(G I)保護制度(H27年6月施行)活用によるブランド力強化
- ・茶葉の生産・加工過程における世界水準の品質向上・管理体制の構築によるハイエンドブランド確立に向けての検討
- ・手摘み茶100%など「プレミアム宇治茶」の開発によるブランド戦略や水出してん茶、水出し玉露など新たな商品販売戦略の展開
- ・ミラノ国際博覧会等での発信・PRなど、世界に通じる「宇治茶」ブランド戦略の展開 等

[宇治茶の生産振興、担い手対策]

- ・高級てん茶・玉露の本ず被覆生産対策や「摘み子」登録制度の創設など手摘み人材確保
- ・茶産地の経営力向上・担い手確保のための受託組織の支援や老朽茶園・茶工場整備、乗用型摘採機導入等の支援 等

## 4 お茶の文化、魅力の効果的なプロモーション・観光誘客の推進

- \* 磨きをかけた宇治茶の価値・魅力を世界に向け発信し、観光誘客の推進を図ることで、多くの人々が訪れ、魅力を感じる大交流圏を形成する。

(事業例)

- ・ターゲットイヤーにおける「お茶の京都博（仮称）」の開催
- ・「やましる八十八景」の公募・発信
- ・「うじチャ・フェア」（仮称）の実施
- ・「宇治茶カフェ」の取組拡大
- ・「宇治茶の郷づくり応援団」による「お茶の京都」づくり推進に向けた取組支援
- ・インバウンドにも対応した SNS 等による情報発信強化、多国語パンフの作成
- ・ツアー・オブ・ジャパン「京都ステージ」やマウンテンバイク全国大会（和束町）を通じた「お茶」と「サイクリング」による地域ブランドの発信
- ・ミラノ国際博覧会等での宇治茶の魅力発信
- ・観光事業者、交通事業者と連携した新たなツアー造成、定期観光バスの運行
- ・トータルコンセプトによる情報発信と、テーマやターゲットを明確にした広域的な観光プロモーション活動の展開
- ・抹茶スイーツや茶畑景観が楽しめる初心者向けサイクルイベント等の開催 等

## 6 推進体制

- \* 以下の組織を新設し、「お茶の京都実践者会議」の下、役割分担・協働しながら推進する。

(1) お茶の京都実践者会議

- ・地域の住民・実践者、地域内外の有識者、関係市町村・府等で構成
- ・構想の検討・策定や、構想実現に向けた実践等を行う

(2) お茶の京都プロジェクト

- ・京都府、関係市町村の関係部局で構成
- ・「お茶の京都」推進に係る全体調整や、行政の実施する事業についての検討・調整

(3) お茶の京都観光協議会

- ・関係市町村、観光連盟、各観光協会、交通事業者、京都府で構成
- ・山城地域全体で広域的な観光振興施策を民間団体も含めて検討、推進

- \* 以下の既存組織と効率的に連携・協働しながら推進

(1) 宇治茶の郷づくり協議会

(2) 日本茶のふるさと「宇治茶生産の景観」広域調整会議

(3) 宇治茶世界文化遺産登録推進プラットフォーム